第１２９回経営協議会議事要録

日　時　　令和７年３月２５日（火）１０時３０分～１１時４０分

会　場　　甲府キャンパス大学本部棟第１会議室

出席者　（委　員）
長田・進藤・山本・山中・窪田・吉岡・齊藤　各委員
中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内　各理事
（列席者）
小林理事、小俣・數野　各監事、岩﨑副学長
志村・土屋・深澤・種田・壬生・雨宮・望月・小谷・石原　各部長、
永倉・植村・齊藤・岩元・大坂・笹原・大森　各課長

議事要録確認
第 128 回（R7.1.23 開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項
１　令和７事業年度長期借入金の認可申請等（案）について
市川理事から、資料１により、医学部附属病院整備事業に必要な長期借入金及び同償還計画について、文部科学省へ令和７事業年度の認可申請を行う旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

２　令和７年度資金運用方針・資金運用計画（案）について
市川理事から、資料２により、標記運用方針・運用計画について、資金管理運営委員会において定めた運用上限額や運用計画にもとづき、運用を進めていく旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

３　令和７年度当初予算（案）について
市川理事及び種田財務部長から、資料３により、標記予算について説明があり、審議の結果、これを承認した。

４　業務方法書の変更（案）について
市川理事から、資料４により、政府調達に関する協定を改正する議定書（平成 26 年条約第４号）の全面発効等に伴い、業務方法書を一部変更する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

５　施設マネジメントの見直し等（案）について
市川理事から、資料５により、研究力の強化や教育の質の向上に向け、既存スペースを見直し、スペースの創出を図るとともに、老朽施設や空調設備等の整備を進めるため、プロジェクトスペースのチャージ料を増額すること、併せて関係規程を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

６　施設整備費等に係る要求事業の選定（案）について
市川理事から、資料６により、令和８年度概算要求事業及び令和７年度営繕事業等の対象事業を各学域等から募集し、緊急度、老朽度、文科省の方針等の評価基準に基づき要求事業候補を選定する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

７　「山梨血小板研究センター」の設置等（案）について
黒澤理事から、資料７により、医学域に新たに「山梨血小板研究センター」を設置すること、及び地域医療の向上や医療安全の推進等を継続して実施するため、CST センターの認定期間を更新（５年間）すること、併せて基本規則を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

８　事務体制の見直し（組織改編等）（案）について
　片田理事から、資料８により、法人運営体制や教育研究支援体制の強化を図るため、事務体制の見直し（組織改編等）を行うこと及び役職定年者を活用した新たな制度として有期雇用の副理事及び特命参事のポストを設けたい旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

９　就業規則の一部改正（案）について
　片田理事から、資料９により、令和６年人事院勧告等に伴う見直し、育児・介護休業法の改正、大学院担当に係る俸給の調整額の見直し等に対応するため、就業規則を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

10　ネーミングライツ事業規程の一部改正（案）について
　市川理事から、資料 10 により、標記事業に係る事務を学術研究部が担っていることや同事業の趣旨を鑑み、事業の実施に係る審議等を担う機関を施設マネジメント委員会から研究推進・社会連携機構運営委員会へ変更し、関連する規程の一部を改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

11　大学発ベンチャー企業等から対価として取得する株式等取扱規程の制定（案）について
　市川理事から、資料 11 により、本学の研究成果の活用・社会実装を促進する、大学発ベンチャー企業を積極的に支援するため、研究成果に係るライセンス供与等の対価として株式等を取得する際の取扱いについて規程を制定する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

12　寄附講座の更新（案）について
　市川理事から、資料 12 により、山梨県の医療提供体制の向上に寄与するため継続設置している生殖医療学・周産期医療学講座及びパワー半導体デバイス分野の研究促進と研究者の育成を行う富士電機パワーデバイス講座の２つの寄附講座について、設置期間の延長等に関する合意書を締結する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項
１　統合報告書 2024 について
　市川理事から、資料 13 により、さまざまなステークホルダーに対し、財務情報と本学の活動全般を「統合」し、分かりやすく伝えるツールとして標記報告書を作成したことの報告があった。

２　大型補助金の採択・検討状況について
　市川理事から、資料 14 により、大型補助金に関し、令和６年度予算として採択された事業（６件）及び今後、申請を検討すべき事業（７件）について報告があった。

３　学長補佐会からの提言について
　黒澤理事から、資料 15 により、学長から諮問を受け、本学が目指すべき姿やその実現の方策に関して、学長補佐会から提言が行われたことについて報告があった。

その他
・永倉総務課長から令和７年度の経営協議会の開催日程について説明があった。

・今年度をもって退任する長田委員及び片田委員から挨拶があった。

次回会議　令和７年５月２２日（木）１３時３０分から開催することを確認した。

学外委員からの意見・質問

審議事項
３　令和７年度当初予算（案）について

（山本委員）
・大学の財務状況について職員や学生にも共有して、状況認識を持ってもらうべきだと考える。

（中村学長）
・共有するようにしていきたい。

９　就業規則の一部改正（案）について

（山本委員）
・初任給特例措置はどのような対応を行うのか。

（片田理事）
・採用から３年後の給与額を初任給の段階から前倒しで支払う。

（窪田委員）
・採用試験に受験する人数が減ってきている中で、採用の試験日や試験内容を見直すなどの対応をしているのか。

（片田理事）
・今までは７月、10 月の年２回採用試験を実施していたが、２年前から就職活動前の２月、６月にも行い年４回採用試験を実施して受験機会を増やすなどしている。

（市川理事）
・山梨県において採用試験で工夫している対策はあるのか。

（長田委員）
・採用時期を年１回から複数回に増やしたり、民間企業の方が受験しやすいように試験日を調整したりしている。また、人材流出を防ぐためにＭＢＡの取得を支援している。

（山本委員）
・若手職員の流出を防ぐために、裁量の大きい仕事などを任せることができるような仕組みに変えていかなければならないと考える。

（片田理事）
・雇用の流動は防ぎきれるものではないので、人材が流出しても大学運営に支障をきたさぬよう業務の見直しを行いたい。

（中村学長）
・人口減少も鑑みて、業務の効率化を進めていきたい。